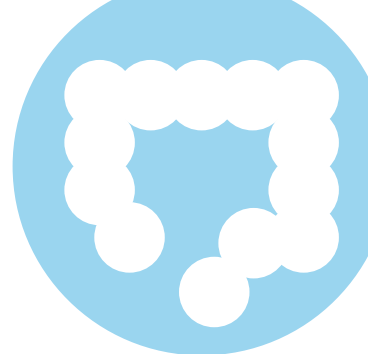


【Tf大腸がん(便潜血)検査】

(便中ヘモグロビン、便中トランスフェリン検査)



必ずお読みください

本検査は診断を目的とするものではありません。

大腸以外の血液が混入すると正しい検査ができなくなります。

痔などによる出血時や、鼻や歯肉からの著しい出血時は、採取をお避けください。

生理中の方は終了後1週間経過してから採取ください。

採取後はすみやかにご返送ください。

以下の方は **検査対象外** となります

大腸がんと診断・治療されている方 大腸の病気ですでに通院中の方

ご不明な点などございましたら下記までご連絡ください(平日9:00~17:15)

TEL:0120-82-1213(H.U. POCKeT株式会社)



検査ってどんなことをするの？

消化管からの出血に由来する便中のヘモグロビンとトランスフェリンを測定し、大腸がんのリスクを検査します。



大腸がんは早期の段階では自覚症状はほとんどありませんが、代表的な症状として「便に血が混じる」というものがあります。これは大腸にできたポリープが原因で排便の際にこすれて出血が起きるためです。よく痔(じ)などの出血と勘違いしそのままにされてしまいますが、出血が続く場合は要注意です。

本検査でそのリスクを判定し早期発見につながっていただければと思います。

ただし、症状が続く場合は必ず医療機関を受診ください。

参考：大腸がん(結腸がん・直腸がん)について

：[国立がん研究センターがん情報サービス一般の方へ](ganjoho.jp)



検査って大切なんですね！

本検査の概要は次のとおりです。

〔検 体〕 便

〔必要日数〕 結果の報告は検体のご返送から約2週間

土・日・祝日を含む場合、必要日数よりかかる場合があります

〔容器保存〕 室温

〔返送方法〕 返信用封筒に検体と受付票を入れ郵便にて返送ください

※受付票には、住所・氏名・電話番号・生年月日・年齢・性別をご記入のうえ、アンケートにお答えください。

測定は株式会社エスアールエルが行います。

